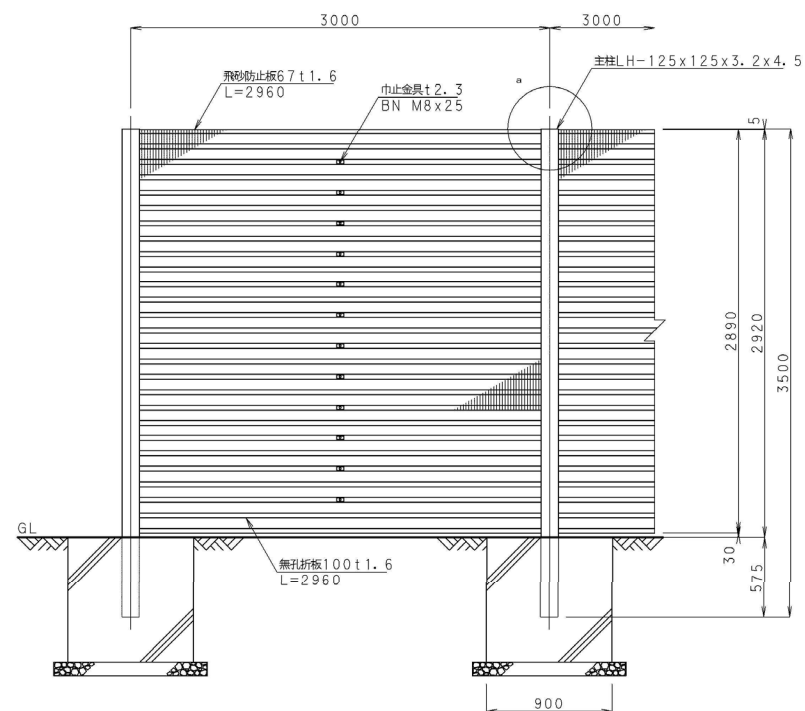


防砂フェンス

防砂フェンスは、より広域な範囲で減風域を確保し飛砂の拡散を防ぐものです。

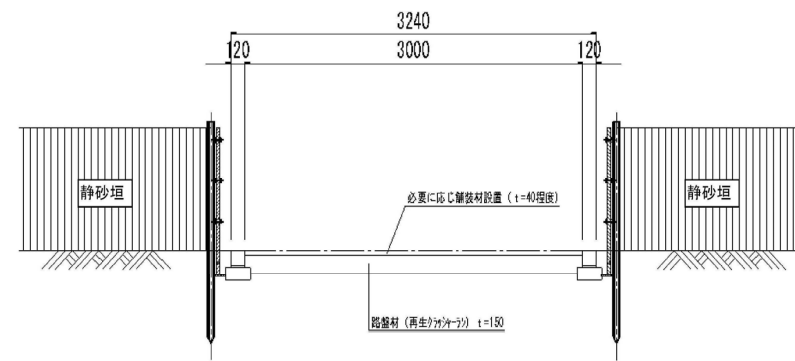


大構造物となるため設置作業は重機による作業になります。



管理用道路

松林の維持管理をするため、作業車等が通行する道路です。



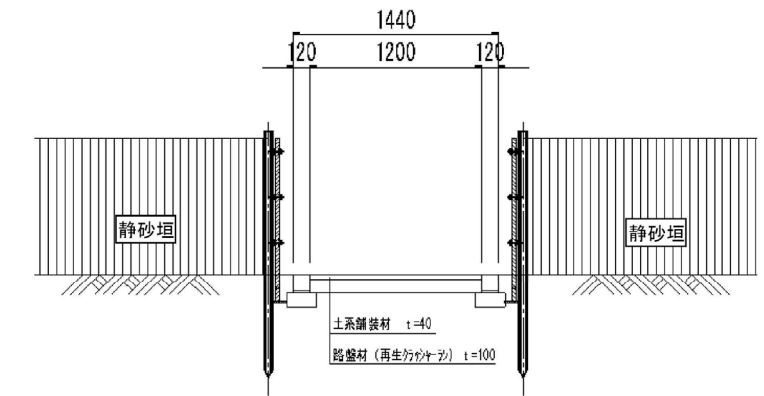
幅約 3.00mの道路で路盤材を 15 c m厚で転圧し、敷き均します。

重機による材料の運搬、転圧作業が考えられます。



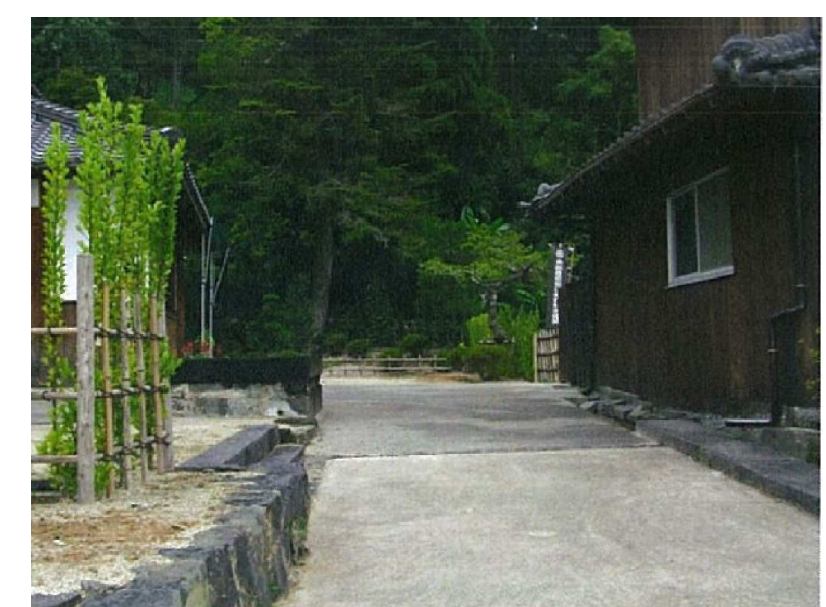
散策路

駐車場などから浜辺へ行くための松林の中の小道です。



幅約 1.2mの道路で路盤材を 10 c m、舗装材を 4 c m厚で施工します。

重機による材料の運搬、転圧作業が考えられます。



4. 「守り・育てる」を考える

クロマツはやせ地や荒地にも耐えうる強健な樹木で、海岸林を代表する樹木です。植樹も容易で子供から高齢者の方でも誰でも植えることが出来ます。植樹後も簡単な維持管理で活着し、成長も早い樹木です。

◆主な守り・育てる項目

クロマツ補植 : 1～4年後のクロマツの淘汰状況により補植します。

雑草の除去 : クロマツが活着するため、砂草以外の雑草は除去します。

下枝剪定 : 樹形を整えるため、クロマツの下枝を剪定します。

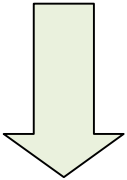
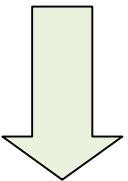
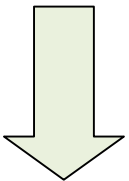
マツクイムシの調査 : マツクイムシによるマツ枯れを防止するため、新芽が出る5月頃に見回りを行います。

間引き : クロマツがある程度、成長し、葉が接触しだしたら間引きを行います。

松葉掻き : 松葉が堆積すると富栄養化します。土壌が肥沃化すると菌根菌（松露）はできません。菌根菌（松露）とクロマツが共生することにより、クロマツは強くなっていきます。そのためには、松葉掻きを行い、クロマツが育ちやすい環境を整えます。

松林の清掃 : 松林を将来に亘って利活用していくため、ゴミの除去や松葉掻きを定期的に行っていきます。

～「守り・育てる」メニュー～

植樹後の守り・育てる活動	植樹後 1～4 年	植樹後 5～10 年	植樹後 10 年以降
	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの除去 ・成長不良幼木の除去 ・毛虫等の駆除（農薬使用） ・堆砂垣や静砂垣、クロマツの支柱の点検・補修 ・クロマツの補植（淘汰状況により） ・乾燥点検（必要により水やり実施） <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <p style="text-align: center;">この期間はクロマツの成長（活着）を観察する期間です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雑草の除去 ・下枝剪定 ・間引き（クロマツの葉が接触しだしたら風通しをよくするために行います。） ・松葉掻き（クロマツが 3m 位になったら、行います。） ・マツクイムシの調査（見回り） ・マツクイムシ駆除（発見後） ・駆除木の処理（産廃に依頼） ・アキグミの除伐（クロマツの育成段階で） ・松林の中のゴミの除去 <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <p style="text-align: center;">幼木から成木へ成長していく過程で、淘汰もあります。下枝剪定や間引きが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・松葉掻き（クロマツが育ちやすい環境を整えます。） ・松林の中のゴミ除去 ・雑草・折枝の除去 ・マツクイムシの調査（見回り） ・マツクイムシ駆除（発見後） ・駆除木の処理（産廃に依頼） <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <p style="text-align: center;">マルチングが栄養になり、菌根菌とクロマツが共生してきたら、その後は過保護にならないように、松葉掻きを行っていきます。</p>
<p>凡例：黒字は住民による活動が可能 赤字は行政等による対応が望ましい</p>			

【住民で行える守り・育てる活動】

植樹後 1～4 年	植樹後 5～10 年	植樹後 10 年以降
<ul style="list-style-type: none"> • ゴミの除去 (理由) a. 漂着物(特に発泡スチロール)等が入りこんでくるため、人手により清掃します。 • 成長不良幼木の除去 • 堆砂垣や静砂垣、クロマツの支柱の点検・補修 (垣根のくずれにより、風が入り、活着しないことがあります。冬前1回程度の点検) • クロマツの補植 (理由) a. 5年間で約3%のクロマツが淘汰されるので、補植します。 b. 施工に際して、重機などを必要としません。 • 乾燥点検(必要により水やり実施) <p>※上記作業の頻度は4回/年程度(静砂垣の中に頻繁に入ると根が活着する前に踏み固めてしまう懸念があります。)</p> <div style="display: flex;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 雑草の除去 (理由) a. 下草やゴミ等を除去しないと、クロマツの活着に支障が出ます。 • 下枝剪定 (理由) a. 樹形を整えるために、からみ枝や半枯れ枝等を剪定します。 b. 2～3m位までなら、地域住民で出来る内容(メニュー)です。 • 間引き(マツの葉が接触しだしたら) (適正密度→最終的に400本/ヘクタール):林野庁 (理由) a. クロマツの葉同士が接触し出したら、風通しが悪くなり、病虫害の原因になります。間引き(間伐)することが必要です。 • マツクイムシの調査(見回り) (理由) a. マツクイムシによるクロマツの枯れを防止するため、見回りを行います。 b. 新芽が出る5月頃に見回りを行います。 (課題) a. 特にありませんが、成長したクロマツの間引きは業者に依頼することが望ましいです。 • 松葉掻き(クロマツが3m位になったら、行います。) • 松林の中のゴミ除去 	<ul style="list-style-type: none"> • 松葉掻き(クロマツが育ちやすい環境を整えます。) (理由) a. 基本的にクロマツは過保護にする必要はありません。 b. 菌根菌(松露)とクロマツが共生するための環境を整えるため、松葉掻きを行っていきます。地域住民で行える内容です。 • 松林の中のゴミ除去 (理由) a. 松林を将来にわたり、利活用していくため、美化活動を行っていきます。 • 雑草・折枝の除去 • マツクイムシの調査(見回り) <div style="display: flex;">   </div>

5. 「利用・活用する」を考える

芦屋港海岸の現状は以下のような状況です。周辺施設や周辺で行われているイベントです。今後、これらの施設やイベントと里浜をどのように利用・活用していくのかを考えてみませんか。

◆利用・活用項目

周辺施設

ビジャプール（アクアシアン）
駐車場（第1駐車場 395台、自由広場の第2、第3駐車場を含めて1,000台完備）
周辺の公園・緑地
芦屋町観光協会
国民宿舎（マリンテラス芦屋）
航空自衛隊芦屋基地
サイクリングロード（遠賀宗像自転車道）
芦屋港
柏原漁港
等

：芦屋港海岸の周辺には、海辺だけでなく、多くの施設があります。現在、1,000台完備されている駐車場は里浜でイベントが開催されると利用することができます。
これらの施設は、里浜と何らかの形で結びつけることができます。

周辺のイベント

航空祭
手づくりフェア in あしや
あしや花火大会
精霊流し
等

：芦屋港海岸周辺では多くのイベントが年間を通して実施されています。里浜では、新たなイベントの開催は可能です。町の新たなイベントを発案できます。

～「利用・活用する」メニュー～

周辺施設

名所・史跡	散策	楽しむ	宿、食
<p>1、岡湊神社 実に1800年の歴史を誇り、「古事記」にもその記載があります。</p> <p>2、芦屋歴史の里（歴史民俗資料館） 郷土固有の歴史の推移を正しく理解し、町民の協力により収集された資料の保存を図るとともに一般に展示公開しています。</p> <p>3、堂山・洞山 遊歩道を歩いていくと正面に二つの島が見えてきます。 手前が堂山、沖に洞山、もとは離れた島でしたが、今はつながって、両方で洞山と呼ばれています。</p>  <p>4、はまゆう群生地 県の天然記念物に指定されています。 夏井ヶ浜の白砂の地に自生し、九州本土では、自生の北限にあたり、7月中旬～8月上旬に開花します。</p> 	<p>1、城山公園 春は園内全体が桜色に染まり、桜見物のスポットとして有名です。</p>  <p>2、波懸け遊歩道 遠賀川河口の山鹿から洞山、千畳敷、狩尾岬、夏井ヶ浜へと続く道。</p>  <p>3、魚見公園 響灘に面した海拔70メートルの小高い岡の上にあるこの公園は、夏には水平線に沈む夕陽が、また冬には沖合にまたたく漁火が見渡せます。</p> <p>4、遠賀宗像自転車道 平成21年3月からレジャープールアクアシアンの事務所にて、レンタサイクルが始まりました。</p>	<p>1、芦屋競艇</p>  <p>2、海浜公園 広大な芝生広場です。</p> <p>3、海水浴場 海の家2軒あります。</p>  <p>4、レジャープール「アクアシアン」 海水浴も楽しめる海浜プール「アクアシアン」、120mの爽快なウォータースライダー、一周191mの流水プール</p> 	<p>1、宿 マリンテラス芦屋を含め7件の宿があります。</p> <p>2、店 筑前あしや「海の駅」、とと市場など9店舗があります。</p>

近辺のイベント

航空祭	手づくりフェア in あしや	あしや花火大会	精霊流し
<p>航空自衛隊芦屋基地は、毎年、開庁記念行事として航空祭を開催しています。</p> <p>開催日や行事はその年によって少し変わりますが、航空機やブルーインパルス<small>Blue Impulse</small>の飛行展示、ペトリオットや航空機などの地上展示もあります。</p> <p>また、音楽隊の演奏や装備品の展示、その他各種アトラクションもあり、一般の人々との交流、交歓があります。</p> <p>開催月：9月頃</p> <p>開催場所：航空自衛隊芦屋基地</p> <p>駐車場：芦屋基地内及び海浜公園駐車場</p> <p>お問合せ先：航空自衛隊芦屋基地渉外室</p> 	<p>多くの手工芸家の皆さんが自身の作品を持って、芦屋の町に大集合します。</p> <p>開催月：6月</p> <p>開催場所：芦屋競艇場内「プラザ」</p> <p>主催：芦屋町手工芸協会</p> <p>作品： 粘土・猫もの・薫工芸・パッチワーク・皮工芸・ちぎり絵・八朔の馬・木工・染め物・ガラス・ステンドグラス etc</p>	<p>芦屋の花火大会は、大正時代に始まったとされ、一時期中断しましたが、本格的には戦後昭和25年ごろ再開し、現在にいたっています。</p> <p>県下でも3本の指に入るほどの歴史と実績のある花火大会で、芦屋町の観光事業の最大のイベントとなっています。</p> <p>北九州市や筑豊地区など近郊から、12～3万人の人出で賑わっています</p> <p>開催月：7月</p> <p>場所：遠賀川河口</p> <p>内容：仕掛け花火 5台</p> <p>打揚玉数 約7,000発</p> 	<p>毎年8月15日に送り火を遠賀川へ流し、ご先祖の霊を見送る行事で、精霊舟の火が河面に美しく流れます。</p> <p>ヨットハーバー芦屋の前で行われ、幻想的な雰囲気をかもしだします。</p> <p>開催日時：8月15日 午後5時～10時</p> <p>開催場所：芦屋橋たもとの砂浜（ヨットハーバー芦屋前）</p> <p>お問合せ先：芦屋町観光協会</p> 

資料) 芦屋町観光協会 HP